



平成23年7月20日

薬害を学び再発を防止するための教育に関する検討会
座長殿

社会福祉法人はばたき福祉事業団 理事長
検討会委員 大平勝美

「薬害に関する資料収集・公開の仕組み」のあり方について、
はばたきライブラリーを運営しての意見

薬害資料館については、薬害エイズ裁判和解後、平成12年以降から厚生大臣宛に、東京・大阪 HIV 訴訟原告団が毎年統一要望書に要望事項の一つとして、そのあり方について要望をしている。その内容は、「薬害エイズ事件」をはじめとして、日本で発生した薬害事件の歴史・経緯、被害の悲惨さ等に関する資料を収集・展示し、薬害を発生させた負の遺産を後世に伝えるとともに、日本及び世界各国の薬害情報の集約・発信のほか、次世代を担う人々への啓発のための施設としている。

当時から今日に至る10年余の経過の中で、厚生労働省とも協議を進めてきたが、結実が難しく、平成13年、はばたきライブラリーをつくり、資料の散逸を防ぐとともに現在もなお進行する被害の実態やその資料を更に充実化し、当事業団がすすめる相談事業や研究に反映させている。

はばたきライブラリーは、薬害エイズ被害者の血友病患者の歴史の流れを本流としている。全国血友病患者会の発足前後から、各地血友病患者会の地域的特徴のある活動、また患者の生活と密着・並行する血液事業や血液凝固の医療、そして身体障害者手帳取得の運動や治療費の公費負担運動等、患者・家族が主体となって切り開いてきた歴史やその資料、そして血液製剤（抗血友病製剤）にまつわる海外製剤の大量流入に併って勃発した HIV 感染被害とその拡大に関する患者・家族の動きと医療構築・提訴・和解の資料、その後の恒久対策について被害者自ら常に道を切り開いている現在までの軌跡等々が集積されている。

これは、私たちにとって大きな資産であり、また今後の活動に向けてのバイブルである。

こうした資料については、将来的にも薬害エイズ被害救済の活動を続けていくはばたき福祉事業団のライブラリーで管理、活用し貴重な資料の散逸は絶対に避けたい。

日本は歴史の負の遺産については忘れようという傾向が強く、薬害エイズ事件においても、被害者が実際に体験してきたものをあたかも否定するような傾向が法律家、医療者、血友病患者会の中にさえもある。このような風潮のある日本で、薬害全体について、薬害の発生・その流れ・被害者の行く末を俯瞰できるシステムの構築は必要と考える。もちろん、各薬害被害者団体のそれぞれの立場、今後の計画もあると思うが、総合的な資料館にすべての資料が収められた場合の距離感、被害者にとって複雑なところがあります。

例えますと、東京訴訟の遺族の方々が良く漏らすのは、厚労省前の薬害根絶誓いの碑です。設置時雷鳴風雨が突然おき、感覚的ですがこの碑に私たち被害者の気持ちが込められたと思いました。当時から既に100人以上の仲間が亡くなっています。思わず手を合わせたくなくなります。静かに鎮魂を祈る時もあるとはと。

このように、被害者の思いのこもった資料が、どこに残され、どのように活用されていくかが私たちとして重要と考えています。

カテゴリ

ライブラリー資料数と総冊数

番号	タイトル	レコード件数	グループ件数
001	公開用	(218)	(218)
002	HIV/AIDS 関係単行本	(223)	(42)
003	薬害感染症血液血友病肝臓	(17)	(17)
004	血液関係	(50)	(45)
005	HIV その他	(45)	(23)
006	東京 HIV 訴訟弁護団関係書籍	(39)	(39)
007	一般その他	(24)	(24)
008	患者運動など	(20)	(20)
009	血友病友の会会報機関紙	(110)	(110)
010	雑誌・特集物	(90)	(64)
011	エイズ専門雑誌・国内	(107)	(71)
012	AIDS	(180)	(179)
013	JAIDS	(98)	(96)
014	ランセット	(365)	(352)
015	JAMA	(329)	(312)
016	NEJOM	(367)	(363)
017	日本医事新報	(220)	(216)
018	MMJ	(74)	(74)
019	学会要旨集	(1)	(1)
020	研究関係の報告書類	(69)	(66)
021	HIV エイズ冊子類	(55)	(156)
022	HIV エイズ小冊子類	(163)	(161)
023	患者会・製薬会社の会報	(1)	(1)
024	HIV・AIDS 関係単行本 (弁護団重複分)	(83)	(79)
小計		3058	2729

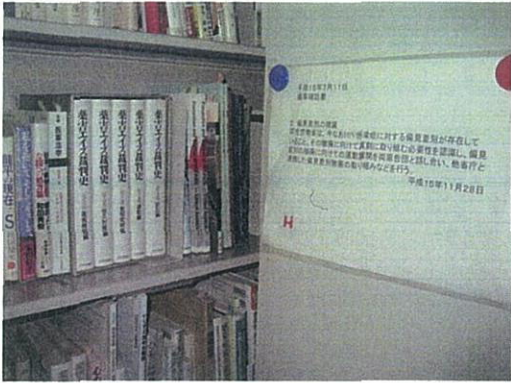
データベース入力数 (3292)

追加予定

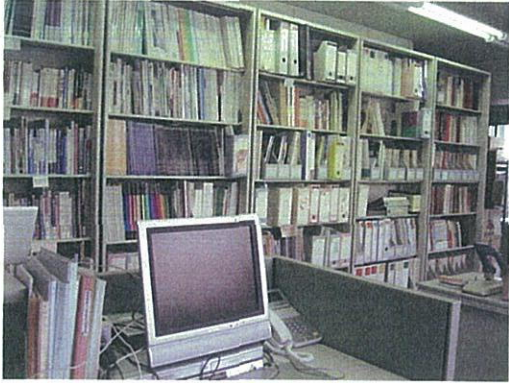
4F 本棚 A-1、A-2、B-1、B-2、C-1、C-2、D-1、D-2、E-1、E-2

5F 本棚 F-1 (研究)、G-1 (就労)

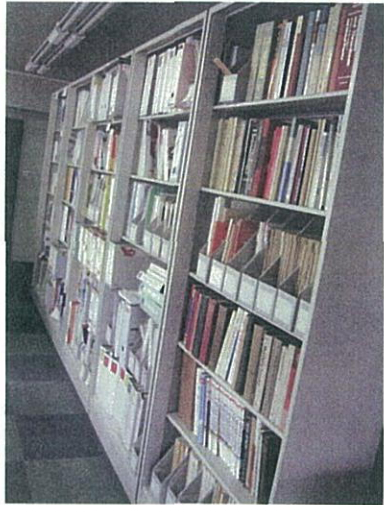
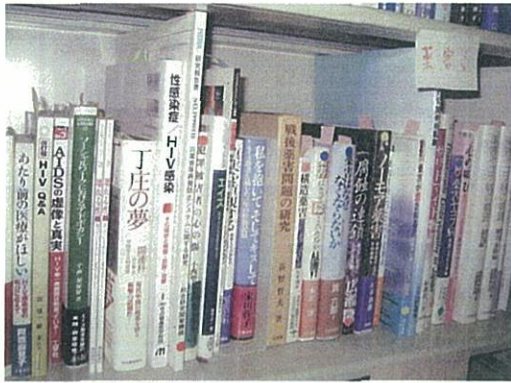
はばたきライブラリー



エイズ、薬害等に関する書籍



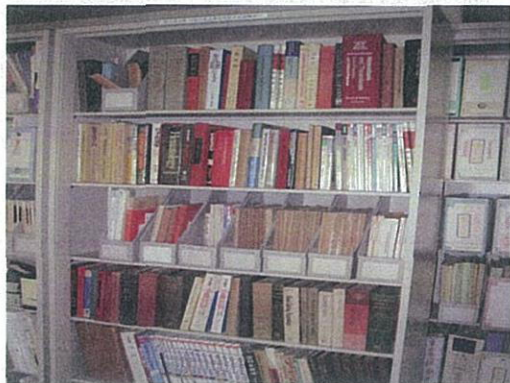
ライブラリーの書棚の様子



各種審議会等の資料



加々美光安先生寄贈の血友病に関する資料





habataki

文字の大きさ 標準 さらに大きく

社会福祉法人 はばたき福祉事業団

HOME

- はばたき福祉事業団とは？
- お知らせ
- はばたきライブラリー
- コラム
- はばたきインフォメーションスクエア
- アクセス(MAP)
- サイトポリシー
- プライバシーポリシー
- リンク集
- サイトマップ
- お問い合わせ

はばたきインフォメーションスクエア

- 2011.7.11 [血友病情報]
[血友病の根治療法をめざして](#)
- 2011.7. 5 [血友病情報]
[みがき残しなくなる改良歯ブラシ！](#)
- 2011.7. 4 [血友病情報]
[便利な車椅子](#)
- 2011.6.29 [薬害エイズ]
[肝臓と関節の可動域のチェックをしますか？](#)
- 2011.6.28 [血友病情報]
[血友病患者のきょうだいのみなさん、是非参加してください](#)

相談事業について

はばたき福祉事業団では、HIV/エイズ、血友病に関する相談を受け付けています。

専用ダイヤル

03-5228-1239

(受付：10:00~16:00 / 土日祝除く)

サイト内検索

Google 検索

最新のお知らせ


2011.5.24 [[メモリアルコンサート](#)]
第8回はばたきメモリアルコンサートのお知らせ

2011.5.17 [[はばたき事業団からのお知らせ](#)]
はばたき理事会・評議員会で22年度事業報告・決算承認 賛助会費・寄付金増大が運営のカギ

Pick Up! 血友病(ヘモフィリア)

2011.7.11
[血友病の根治療法をめざして](#)

2011.7. 5
[みがき残しなくなる改良歯ブラシ！](#)



北海道の HIV・エイズ情報

HAND



H **賛助会員募集 /**

1口1,000円(学生)から、賛助会員を募集しております。


habataki

就労支援 !! HIV感染者の就労環境向上のために！



コラム from はばたきフンブン

はばたきフンブンは、「生きる力を高める」がテーマのブログマガジンです。

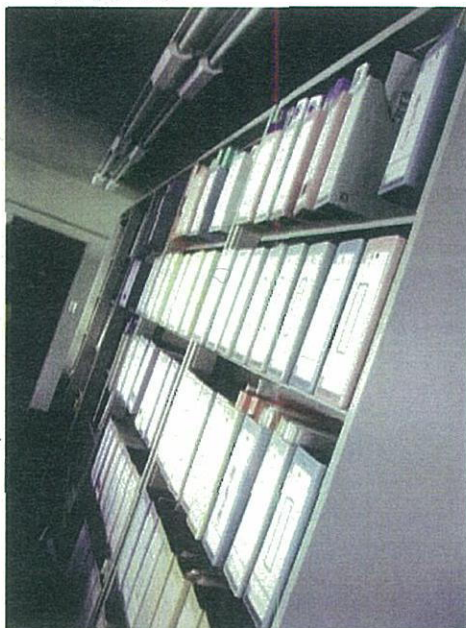


2011.07.20
アサダシロウ

患者が変われば、医療は変わる。

[HOME](#) | [プライバシーポリシー](#) | [サイトポリシー](#) | [サイトマップ](#) | [リンク集](#) | [お問い合わせ](#) | [アクセス](#)

掲載されている画像・コンテンツの無断転載を禁じます
Copyright (C) Social Welfare Corporation Habataki Welfare Project. All Rights Reserved.



Habataki Library

はばたきライブラリーとは

2001年、HIV訴訟の記録、薬害エイズ・血友病等の図書、資料等を収集、保存するためのライブラリーがはばたき福祉事業団4階に開設されました。収集した資料は、分類・整理の上、閲覧に供するとともに可能な範囲で「バーチャル資料館」としてホームページ上での公開を進めています。

■新着情報

[リンクの入力をします](#)

はばたきライブラリーとは

蔵書リスト

資料貸し出しのご案内

ライブラリー開館時間



habataki

文字の大きさ 標準 さらに大きく

社会福祉法人 **はばたき福祉事業団**

サイト内検索

Google 検索

はばたき福祉事業団とは？

お知らせ

はばたきライブラリー

コラム

はばたきインフォメーションスクエア

HIV・薬害エイズ情報

血液と献血情報

血友病情報

その他医療情報

アクセス(MAP)

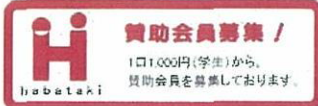
サイトポリシー

プライバシーポリシー

リンク集

サイトマップ

お問い合わせ



はばたきインフォメーションスクエア

HOME > はばたきインフォメーションスクエア

HIV・薬害エイズ情報

2011.6.29 [薬害エイズ]

肝臓と関節の可動域のチェックをしますか？

薬害HIV感染被害患者のみなさん、自分の肝臓の状態と関節の可動域をチェックしていますか？ それぞれのチェック項目の用紙をダウンロードできるようにしましたので、ぜひ自分でチェックしてみてください。なお、兼松期の入院検査・・・(全文へ)

2011.6.24 [薬害エイズ]

「ハートをつなごう HIV第3弾」 6月30日 原告団世話人の武・・・

2011.6.16 [薬害エイズ]

厚生労働大臣との定期協議を終えて、1週間が過ぎた

血液と献血情報

2010.11.29 [血液と献血情報]

厚生労働委員会 献血血液の企業利用でGL(ガイドライン)策定へ

厚生労働省の薬事・食品衛生審議会の血液事業部会運営委員会は11月24日開かれ、製薬企業が献血血液を使って研究開発する際のガイドライン(GL)を策定することを決めた。次回以降の委員会で事務局がGL案を提示する。厚労省による・・・(全文へ)

2010.9.29 [血液と献血情報]

血液対策、うとうとから、やっと動き出す 献血推進、血漿分画製剤国・・・

2010.9.21 [血液と献血情報]

クロスエイト、何処へいく

血友病情報

2011.7.11 [血友病情報]

血友病の根治療法をめざして

薬害HIV訴訟原告団は、被害の教訓を生かした、恒久対策の進展を毎年厚生労働大臣に要望し、その実現・・・(全文へ)



薬害HIV訴訟原告団

は、被害の教訓を生か

した、恒久

対策の進展を毎年厚生労働大臣に要望し、その実

現・・・(全文へ)

薬害HIV訴訟原告団は、被害の教訓を生かした、恒久対策の進展を毎年厚生労働大臣に要望し、その実現・・・(全文へ)

薬害HIV訴訟原告団は、被害の教訓を生かした、恒久対策の進展を毎年厚生労働大臣に要望し、その実現・・・(全文へ)

薬害HIV訴訟原告団は、被害の教訓を生かした、恒久対策の進展を毎年厚生労働大臣に要望し、その実現・・・(全文へ)

薬害HIV訴訟原告団は、被害の教訓を生かした、恒久対策の進展を毎年厚生労働大臣に要望し、その実現・・・(全文へ)

薬害HIV訴訟原告団は、被害の教訓を生かした、恒久対策の進展を毎年厚生労働大臣に要望し、その実現・・・(全文へ)

2011.7.5 [血友病情報]

みがき残しがなくなる改良歯ブラシ！

2011.7.4 [血友病情報]

便利な車椅子

その他医療情報

2011.6.22 [肝炎・肝硬変・肝移植]

肝硬変を有するHIV感染者に対する自己骨髄細胞療法の研究、2症例・・・

肝硬変を有するHIV感染者に対する自己骨髄細胞療法の研究、2症例目に 薬害HIV感染被害者が現在一番の関病とするのは、HIV/HCVによる肝炎悪化での肝硬変。肝硬変のスピードも速く、肝がんに移行する人も増え・・・(全文へ)

2011.5.20 [肝炎・肝硬変・肝移植]

「米メルクとスイス・ロシュ C型肝炎領域で提携、新薬の共同販促も・・・

2011.5.20 [その他医療情報]

中医協 勝村委員の後任に花井委員

[前のページへ戻る](#)

[ページのトップへ](#)

患者が変われば、医療は変わる。

私たちはHIV事件の教訓を忘れません。
「はばたき」はきっと、あなたの力になります。

[HOME](#) | [プライバシーポリシー](#) | [サイトポリシー](#) | [サイトマップ](#) | [リンク集](#) | [お問い合わせ](#) | [アクセス](#)

掲載されている画像・コンテンツの無断転載を禁じます

Copyright (C) Social Welfare Corporation Habataki Welfare Project. All Rights Reserved.



habataki

文字の大きさ 標準 さらに大きく

社会福祉法人 はばたき福祉事業団

HOME

サイト内検索

Google 検索

はばたき福祉事業団とは？

理事長ご挨拶

はばたき福祉事業団について

これまでのあゆみ

組織図と事務局体制

事業について

役員一覧

事業・会計報告

定款

薬害エイズ事件

貸助会員募集

活動アーカイブ

お知らせ

はばたきライブラリー

コラム

はばたきインフォメーションスクエア

アクセス (MAP)

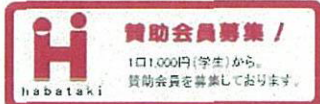
サイトポリシー

プライバシーポリシー

リンク集

サイトマップ

お問い合わせ



はばたき福祉事業団について

HOME > はばたき福祉事業団とは？ > はばたき福祉事業団について

はばたき福祉事業団について

目的

東京HIV訴訟和解成立後、薬害エイズ被害者の救済事業を被害者自らが推進していくことを目的に、1997（平成9）年4月1日に任意財団として設立されました。



本来、厚生労働省や企業が恒久的な被害救済に取り組むべきなのですが、なかなか進まないため、被害者自らが立ち上がり、被害者の医療や福祉、社会生活の向上を目指して組織された団体です。

任意財団として設立後、被害者の恒久対策は進みました。

しかし、相談事業や調査研究事業を行っていく中で、C型肝炎との重複感染問題や遺族のPTSDを含めた被害救済など、まだまだ救済のための取り組みが必要だということが明らかになってきました。

そのためには、はばたき福祉事業団をもっと永く存続できるよう、法人化を図ろうという考え方が固まってきました。

法人化に向けての議論を進め、最終的に社会福祉法人化することを決断しました。

そして、2006（平成18年）年8月28日、厚生労働省より社会福祉法人として認可を受け、8月30日に設立されました。

和解から10年が経過し念願だった法人化を達成できたことは、はばたき福祉事業団の薬害エイズ被害救済や被害体験に立脚した医療・福祉・血液行政など公共の福祉に対する活動が認められたものと受け止めております。

今後は第2種社会福祉法人として、HIV感染者や血友病患者等の身体障害者の更生相談事業や感染者の遺族に対する相談・支援や調査研究、教育啓発等の公益事業活動を実施していきます。

運営資金

被害者が和解金の一部を任意に拠出した拠出金、厚生労働省からの委託事業として実施している遺族等相談事業の補助金を中心です。

また、はばたきの趣旨にご賛同いただいた多くの方々からの賛助金や寄附金を加えた資金で運営されています。

今後は、社会福祉法人化により助成金申請の機会が増えるため、積極的に助成事業に取り組み、財政基盤を早期に安定させていきます。

事業

第2種社会福祉事業として、身体障害者の更生相談事業を行います。

また公益事業として、HIV感染者の遺族に対する相談・支援事業、HIV感染者等の調査研究事業、HIVに係る教育啓発事業を行います。

これまで行ってきた被害者への恒久対策も、これまで以上に充実させていきます。

▶ 詳しくは「事業について」もご覧ください。



事務局体制

全国の被害者に実効ある被害救済を届けられるよう、東京本部のほか、北海道、東北、中部、九州に

それぞれ支部を設置しています。

被害者・第三者の事務職員・相談員を中心に事務局をおいており、全員でおよそ20名が職務を行なっています。

各地域に固有な問題に対処できる体制を整えており、地域に根差した救済活動を行なう拠点となっています。

▶ 詳しくは「[組織図と事務局体制](#)」もご覧ください。

[前のページへ戻る](#)

[ページのトップへ](#)

患者が変われば、医療は変わる。

私たちはHIV事件の教訓を忘れません。
「はばたき」はきっと、あなたの力になります。

[HOME](#) | [プライバシーポリシー](#) | [サイトポリシー](#) | [サイトマップ](#) | [リンク集](#) | [お問い合わせ](#) | [アクセス](#)

掲載されている画像・コンテンツの無断転載を禁じます

Copyright (C) Social Welfare Corporation Habataki Welfare Project. All Rights Reserved.

